

事業所名

ことばと子どもの支援室ふれいす

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

4月

3日

法人（事業所）理念	子どもの可能性を未来に繋げ、すべての人が地域社会の中で共に生き、誰一人取り残さないソーシャルインクルージョンを目指す。						
支援方針	認知や言語、コミュニケーションといった検査・評価を行い、対象のお子さんを細かく把握し、お子さんに合ったスペシャルな支援を提供します。また保護者さんが感じている子育てのお悩みに丁寧に対応し、充実した子育てができるように支援します。さらに、お子さんが楽しい地域生活が送れるよう関係各所との連携、情報提供に努めます。						
営業時間	8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
	支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	食事動作の観察から自助具の使用の検討し、椅子の高さや身体とのフィット感などを調整しながら、姿勢の調整をおこないます。また、口腔機能の筋力や協調運動の検査を行い、お子さんに合った食事内容のアドバイスなども検討します。排泄面では、時間誘導など排泄の成功体験を促します。水分摂取量、消化器・泌尿器疾患の有無の確認など様々な観点から可能性を探ります。意思表示の難しいお子さんには絵カードやサインなど伝達手段の確立なども行うます。衣服の着脱や入浴面については、直接的なプログラムの実施は難しいため、日常生活上において似た動作を用いて、自立の獲得を目指します。					
	運動・感覚	頻度の多い聴覚過敏への対応法や環境配慮、聴覚障がい児には耳鼻科やひばり園との連携や影響の受けやすいことばの遅れへの早期からの介入をおこないます。また、サーキットトレーニングやダンスなど、お子さんたちのモチベーションを促しながら、身体の発達をサポートしていきます。					
	認知・行動	認知行動面ではK-ABCIIなどにより、認知特性を評価することで、お子さんに合った提示の仕方や、環境調整を提案し、落ち着いた日々を過ごせるよう支援します。また、数や大小などの概念的なスキルを身につけることで、将来的に学習や就労へつながるよう支援します。					
	言語・コミュニケーション	言語・コミュニケーションにおいては理解・表出・意欲の評価を細かく行い、どの部分で苦手さがあるのかを明らかにすることで、それぞれのお子さんに合ったプログラム形成をおこないます。また、吃音や構音障がい、場面緘默など専門的な評価も行なっていきます。					
	人間関係・社会性	社会性の育ちには、海外の研究において、早期療育が一定のエビデンスを確立しており、JASPERプログラムや感覚統合理論に基づいて主に遊びの中で他者と関わる喜びや、やり取りの成功体験を積み重ねていきます。					
家族支援	家庭の安定が子の成長に重要であり、障がい児家庭に丁寧な支援と心理的サポートを行い、親子関係と子どもの育ちを支えるように支援します。			移行支援	通所療育に加え、園や家庭などの生活場面での支援を行うことで、対象のお子さんの活動機会が増え、障がいの理解とインクルージョン教育の促進につながるように支援します。		
地域支援・地域連携	地域の会議や他事業所との連携を通じて情報を収集し、地域支援の質を高めつつ、在宅ケースなどへの支援にも取り組んでいきます。			職員の質の向上	職員に求めている知識や技術を明確にし、定期的な面談を通して目標設定を繰り返します。職員のキャリア向上を目指し、それに合わせた分かりやすい昇給制度を確立します。		
主な行事等	障がいのある子どもたちが、地域の行事や活動に参加できる環境を整えるために、地域との連絡を密にして、子どもたちに配慮が必要な状況や理由について啓発したり、地域住民との交流や参加型の行事を開催します。						